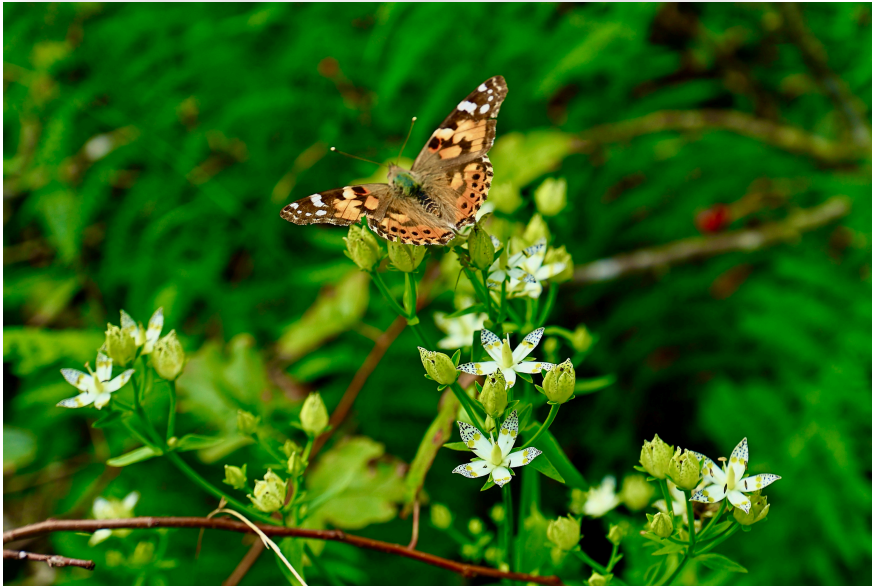




皆さん、いかがお過ごしでしょうか。先日、木枯らしのニュースが報じられていました。季節は冬に突入です。今年はあまり秋晴れを見ないままに冬になってしまい、ちょっと残念な気分です。

今回の写真は、9月に那須の沼ッ原湿原で撮った1枚です。アケボノソウに留まる蝶です。蜜に誘われているのは、おそらくヒメアカタテハ？です。この花の

和名の由来は、白い花びらを夜明け（曙）の空、花びらの先の黒い斑点を星に見立てて名付けられたとか。こんな小さな花に宇宙が宿っている素敵な名前です。花びらの中程には一対の黄緑色の斑点があり、よく目立ちます。これは虫を引き寄せる蜜線です。この一対の黄緑色が、この花の見た目の魅力を増しています。このアケボノソウは、リンドウ科センブリ属です。「千回振りだし（煎じて）ても苦い」と言われるセンブリと近い仲間です。センブリの苦味成分は、草食動物に食べられにくくするための防御策と言われています。同じセンブリ属でも、苦味を捨てて花卉の模様や、蜜線を目立たせ、虫を惹きつける魅力で生きる道を選んだのがアケボノソウ。この違いを人生の選択のような、というのは少々言い過ぎでしょうか。皆さんどう思われますか？

さて1月の予定をお送りします。2026年の長澤登山教室は、毎年恒例ですが「高尾山 de 初詣」から始まります。初詣登山の第2弾は、ちょっと頑張って丹沢の大山です。ヤブツ峠から登って表参道を下るコースです。天候に恵まれれば、素晴らしい富士山が望めます。続いて久しぶりの房総の鋸山です。最近の熊の被害が続発していますが、千葉県には熊がいないということで、房総の山の人気が上がっているとか。熊の心配のない鋸山から東京湾の向こうに富士山を眺めようというのはいかがでしょうか。続いて次のコースもおそらく熊の心配はないでしょう。表丹沢の権現山から弘法山と、ご当地アルプスの日連アルプスです。もっとも通常なら1月には熊の心配はないと思いますが、最近は冬眠しない熊もいるとも言われていますので、あまり迂闊なことは言えません。

ところで、やっと新しい内閣の誕生です。今年7月の参議院選挙から3ヶ月余り、国民そっちのけで党内抗争（石破下ろし）を繰り広げた挙句のスタートです。石破首相を引き摺り下ろしての高市内閣ですから、何か新しい経済政策、物価高対策が出てくると思いますよね。しかし報道を見る限り、ほとんど新しさは見ることはできない。やったことといえば、選挙の公約だった2万円給付策の取り下げと、米の増産から減産への転換くらい。

高市首相の国会答弁を見ても、もっぱら手元の原稿を見ながらの答弁に終始しているように見えます。石破下ろしの最中の威勢のいい発言を思い起こすと、少々違和感のあるところです。例えば、自分が首相なら「食品の消費税は0にする」と公言していましたね。今では、できない理由を官僚的な答弁で繰り返すばかりです。外国人問題にしても、アベノミックスのジャブジャブの金融緩和による円安誘導、安価な外国人労働力の導入、海外観光客からの観光収入に頼った経済政策によって生み出されたのではありませんか。その責任にほっかぶりしたまま、政権にある者が排外主義を煽る姿は受け入れがたいものがあります。加えてそれを肯定する世論にも薄気味悪い怖さを感じている今日この頃です。

それでは皆さん、また山でお会いしましょう！